三陸防災復興ゾーンプロジェクト

1 プロジェクトの概要

東日本大震災津波からの復興の取組により大きく進展したまちづくりや交通ネットワーク、港湾機能などを生かした地域産業の振興を図るとともに、三陸防災復興プロジェクト2019 等を契機として生み出される効果を持続し、三陸地域の多様な魅力を発信して国内外との交流を活発化することにより、**岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーン**の創造を目指す。

2 これまでの取組状況

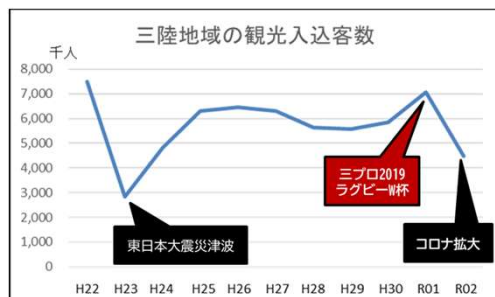
【令和元年度】
「三陸防災復興プロジェクト2019」
（主催22事業）
・参加者 約18万5千人
・経済波及効果 35.9億円

東日本大震災津波の記憶と教訓を伝え、「三プロ2019」の目指す姿や取組を継承、持続的な三陸地域の振興につなげる。

◎ 東日本大震災津波伝承館などを活用した東日本大震災津波の教訓や復興の姿、支援への感謝発信

◎ 次代を担う世代への防災意識継承や復興ツーリズムの推進による、世界の防災力向上の取組推進

◎ 三陸鉄道、三陸ジオパークなどの魅力を伝える新たな観光コンテンツの創出や、復興道路、港湾などの新たな交通ネットワークを活用した交流人口拡大

◎ 三陸ならではの食や観光情報の発信を通じた認知度の向上による三陸地域への誘客促進

3 令和４年度の具体的な取組

1. 「防災」で世界とつながる三陸

■「ぼうさいこくたい2021」開催を契機に、「防災を学習する場づくりプロジェクト」を推進
■ 被災地の遠隔見学などローカル5G等を活用した防災学習の推進
■「ぼうさいこくたい2022（兵庫県開催）」等と連携した防災学習、復興情報の発信
■震災学習を中心とした教育旅行誘致拡大

2. 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

■地域資源を活用した魅力的な三鉄企画列車の造成支援による県外との交流拡大を促進
■FDA神戸線就航を契機とし、関西圏と三陸地域の交流人口拡大
■花巻空港の国際線運航再開に取り組み、三陸地域へのインバウンド周遊拡大を促進
■外国船社クルーズ船の誘致促進プロモーション
■「北いわてMaaS」の周遊効果を三陸全域に波及、伝承施設等地域資源を活用し誘客促進

3. ジオパークで世界とつながる三陸

■ジオガイドの拡充やコンテンツの磨き上げ、ジオパーク再認定に向けた基盤強化
■フォトロゲイニング大会等を開催

4. 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

■「ひろたハマラインパーク」などを活用した合宿やスポーツ大会等誘致
■釜石シーウェイブスとの協働による本県の魅力PR、県民の交流創出
■生産者・料理人・ジャーナリスト等と連携し、三陸の食材を活用した創作料理の提供など、三陸の「食」の魅力を発信

5. 次代を担う人材の育成

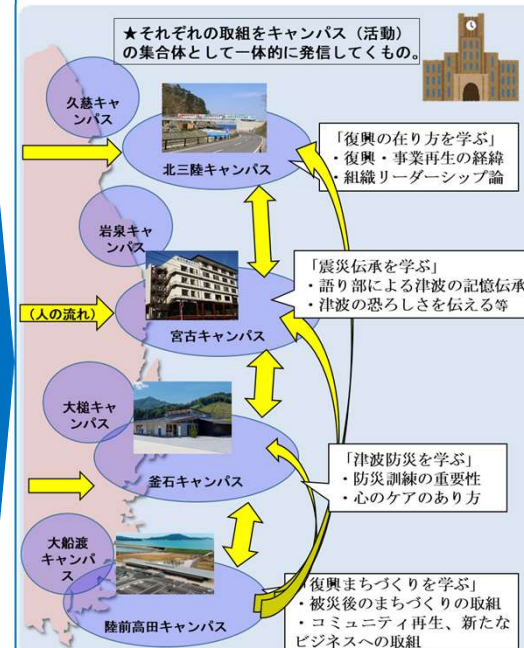
■三陸DMOセンターによる観光人材の育成、観光関連事業者等とのマッチング支援
■漁業担い手の確保・育成に向けた地域漁業の情報発信や受入支援

6. 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

■三陸DMOセンターを三陸地域に移転、現地機能強化。情報発信や周遊型滞在の取組推進
■復興の理念を継承した「さんりく音楽祭2022」を開催し、音楽を通じた交流を創出
■これまでのつながりを活用した県外企業等による支援を継続的にフォロー
■三陸振興協議会を運営し、市町村等と連携した三陸振興の取組を推進

4 今後の取組方向

◎ 三陸地域を"防災を学習する場"として、計画的・持続的に発展する地域とする仕組みづくりにより、震災の記憶の風化防止や国内外の防災力向上に資する取組を進める。

【「防災を学習する場づくりプロジェクト」イメージ】

◎ 様々な地域や主体とのつながりをつくる事業を展開しながら、三陸地域の多様な魅力を発信するとともに、新たな地域資源の創出による人的・経済的な交流の促進に取り組む。